

東海経済レポート

（2019年9月）

～景気は底堅さを維持しつつも、拡大ペースは鈍化～

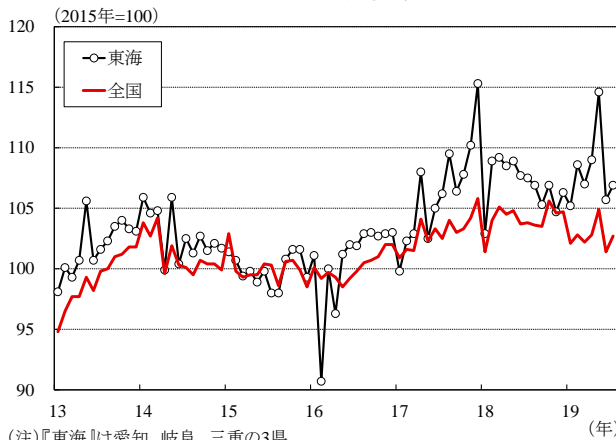
【足元の経済情勢】

- ◇ 東海経済は底堅さを維持しているものの、拡大ペースには鈍化が見られる。企業部門は、生産と輸出が一定の水準を保ちつつも、伸び率が一進一退となっているほか、設備投資も一部に足踏み感が見られる。家計部門では、雇用環境は引き続き良好な状況を維持している一方、個人消費は一部に弱さも見られる。
- ▶ 生産は、7月の鉱工業生産指数が前月比+1.1%と、2ヵ月ぶりに上昇した。業種別では、電子部品・デバイス工業が2ヵ月連続で減産となったものの、当地域主力の輸送機械が2ヵ月ぶりに増産となったほか、電気機械や生産用機械も増産となった。
 - ▶ 設備投資は、4-6月期の大企業の投資額が前年比▲17.5%と5四半期ぶりに減少した。非製造業は増勢を維持したものの、製造業が前年同期に見られた高い伸びの反動もあって大きく落ち込み、全体を下押しした。金属工作機械の受注は、当地区主要8社の国内受注額が7月に前年比▲33.8%と8ヵ月連続で減少した。
 - ▶ 輸出額（円ベース）は、8月に前年比▲6.3%と2ヵ月ぶりに減少した。EU向けは増勢を維持したものの、中国向けや他のアジア向けの前年比マイナスが続いたうえ、米国向けも8ヵ月ぶりに減少となった。品目別では、主要品目が総じて前年比マイナスとなり、増勢を維持してきた自動車も同▲8.3%と8ヵ月ぶりに減少となった。
 - ▶ 7月の有効求人倍率は、岐阜県が2ヵ月ぶりに低下した一方、愛知県と三重県は横ばいとなった。3県ともここ数年の上昇トレンドから、高位での横ばい基調となりつつある。
 - ▶ 個人消費関連では、7月の小売主要3業態の販売額が前年比▲3.5%と2ヵ月連続で減少した。長梅雨等を背景に21ヵ月ぶりに3業態揃って前年比減少となった。一方、7月の新車販売台数は同+5.0%と、2ヵ月ぶりに増加した。
 - ▶ 住宅着工戸数は、7月に年率換算9.3万戸、前年比+0.5%と3ヵ月連続で増加となった。貸家が2ヵ月連続でマイナスとなったものの、持家、分譲マンション、分譲戸建てが揃ってプラスを続けた。

【生産①】

7月の鉱工業生産指数は前月比+1.1%と、2ヵ月ぶりの増加。

鉱工業生産指数

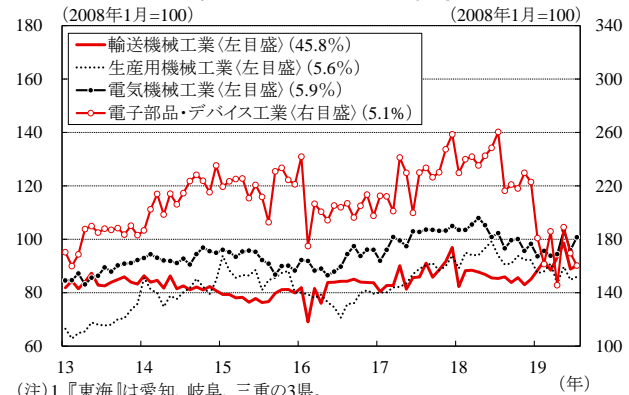


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【生産②】

電子部品・デバイスが前月比減産となったものの、輸送機械や電気機械などが増産となった。

業種別の鉱工業生産(東海)



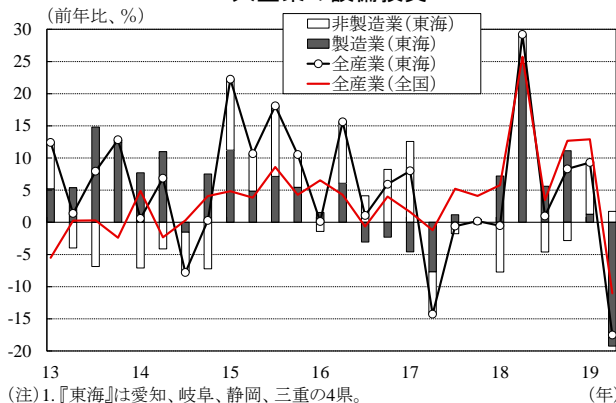
(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
2. ()内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成27年基準。中部経済産業局算出)

(資料)中部経済産業局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【設備投資】

4-6月期の大企業の設備投資は前年比▲17.5%と、前年の反動もあり5四半期ぶりの減少。

大企業の設備投資

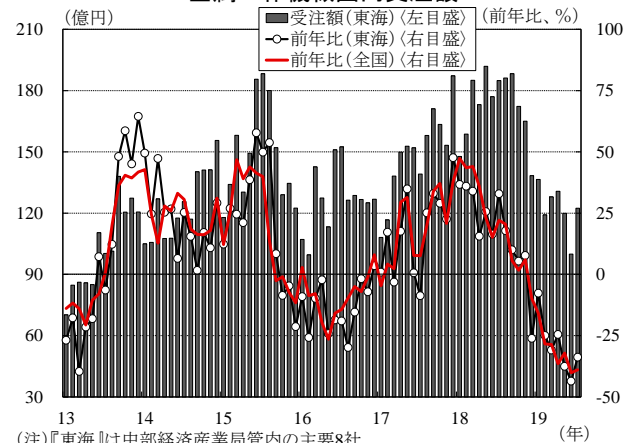


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。
2. 資本金10億円以上の企業を対象。
3. 設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。
(資料)東海財務局統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【金属工作機械受注(国内)】

金属工作機械の国内受注額(当地区内の主要8社)は7月に前年比▲33.8%と、8ヵ月連続の減少。

金属工作機械国内受注額

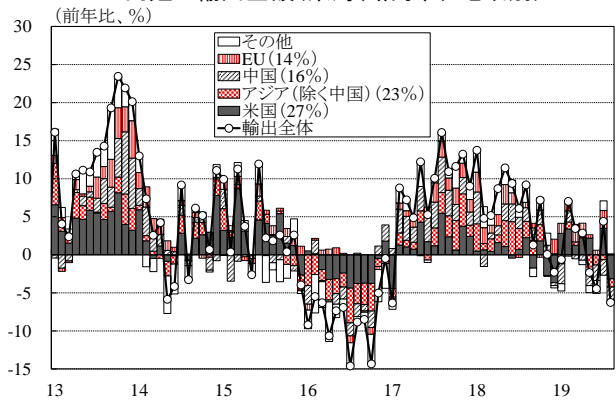


(注)『東海』は中部経済産業局管内の主要8社。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【輸出】

8月の輸出額(円ベース)は前年比▲6.3%と2ヵ月ぶりの減少。EUを除く主要国・地域向けが減少。

円建て輸出金額(東海、相手国・地域別)

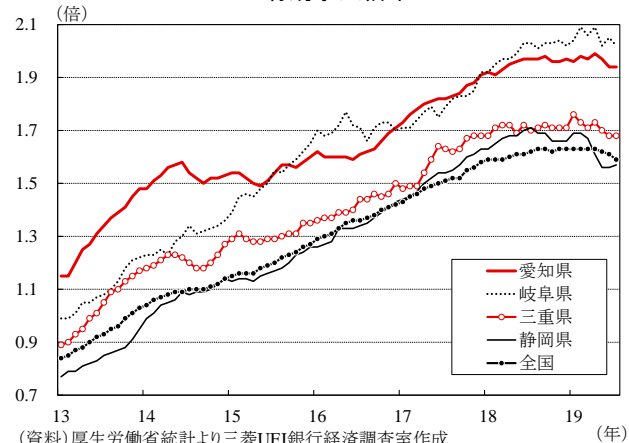


(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。
2. ()内の数値は2018年輸出総額に占めるシェア。
(資料)名古屋税関統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【雇用】

7月の有効求人倍率は、岐阜県が2ヵ月ぶりに低下した一方、愛知県と三重県は横ばいとなった。

有効求人倍率

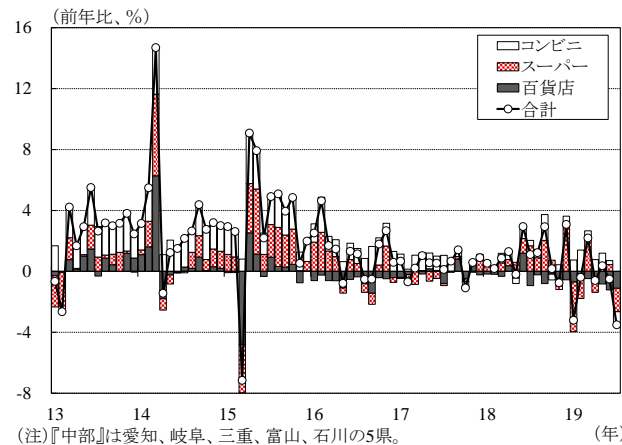


(資料)厚生労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【個人消費】

7月の小売主要3業態の販売は前年比▲3.5%と2ヵ月連続の減少。3業態揃ってマイナスとなった。

小売主要3業態の販売動向(中部)

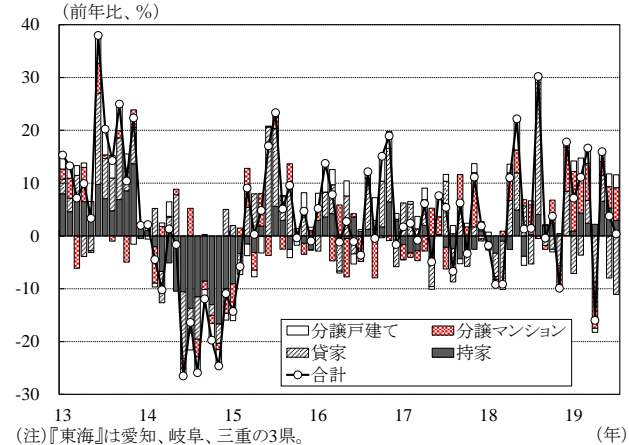


(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【住宅投資】

7月の住宅着工戸数は年率換算9.3万戸、前年比+0.5%増。貸家を除く各用途での増加が続いた。

新設住宅着工戸数(東海)

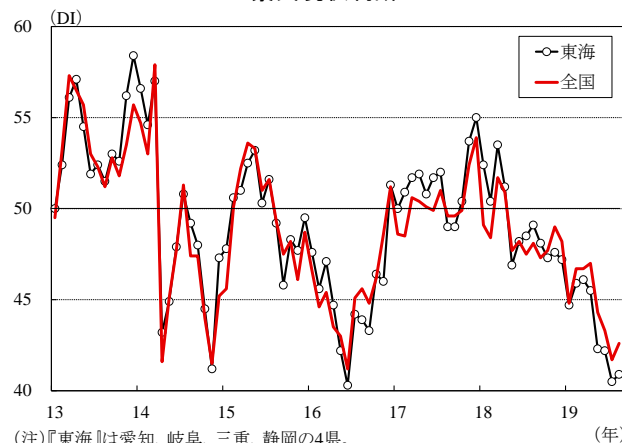


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)国土交通省東海より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【景気ウォッチャー調査】

8月の現状判断DIは40.9と、5ヵ月ぶりの上昇。ただ、水準は2016年以來となる低位で推移中。

景気現状判断DI

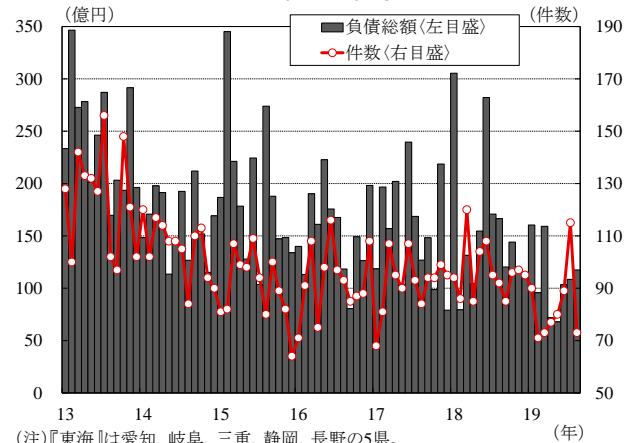


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。
(資料)内閣府資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【倒産件数】

8月の企業倒産件数は73件で、前年比▲20.7%の減少。負債総額は117億円で、同▲29.5%の減少。

企業倒産(東海)

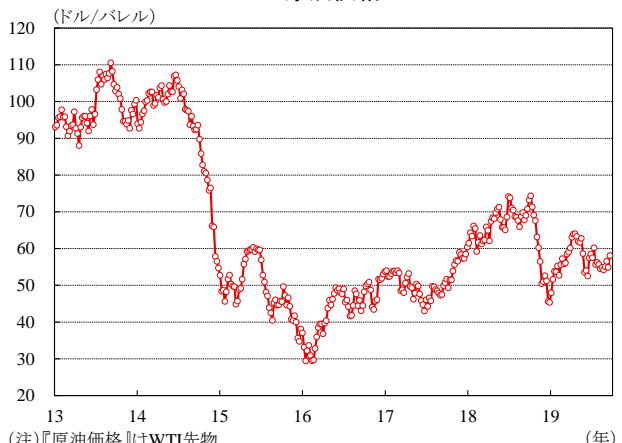


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

【原油価格】

WTI先物は、サウジ石油施設攻撃で一時62ドル超に急騰も、生産回復見通しを受け50ドル台後半に。

原油価格

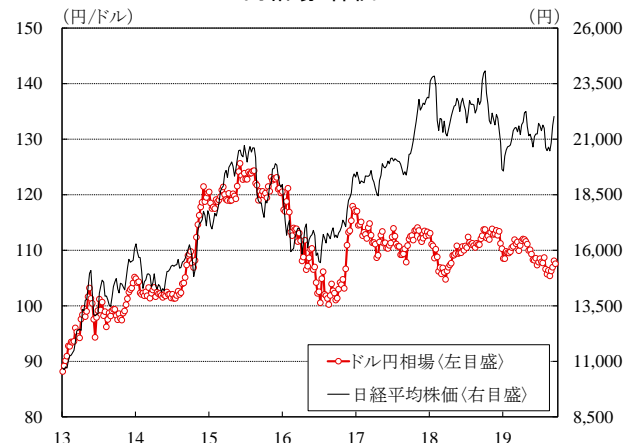


(注)『原油価格』はWTI先物。
(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

【円相場・株価】

為替市場は、米中貿易協議の進展期待等を背景に円安方向に推移。株価も円安に連動して上昇。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱 UFJ 銀行 経済調査室（名古屋）

中村 健彦 takehiko_nakamura@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。